

令和2年度  
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
定期巡回 かつはら

令和2年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>利用者や家族のニーズに応じた柔軟な支援をすすめていくことで、月間利用者数30名を目指す。</p>
<p>理 由</p>	<p>要介護度の軽い利用者は服薬管理や食事に関する支援を行うことで状態が改善し、要支援になる場合や逆に重度の利用者は疾病が増悪し、自宅での生活が難しくなり、入院や施設に入居する場合があります。現状、行っている支援について、PDCAサイクルをもとに検証していくことで、より利用者や家族のニーズに応じた柔軟な支援をすすめていきたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎月、居宅介護支援事業所や医療機関に行き、介護支援専門員やメディカルソーシャルワーカーに定期巡回型サービスの特長を説明し、意見交換を行う。</li> <li>2. 介護・医療連携推進会議にて、運営のあり方を検討し、出席者から出た意見や提案をもとに、担当職員間で対応方法を検討し、ニーズに応じた柔軟な支援を行う。</li> <li>3. 担当職員のスキルアップを図るため、外部研修に参加するとともに施設内での勉強会を定期的に開催する。</li> <li>4. 定期巡回型サービスの普及を図るため、地域の自治会役員や民生委員向けにセミナーを上半期と下半期1回ずつ開催する。</li> </ol>

令和2年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>コロナ禍から地域セミナーに加え、居宅介護支援事業所や医療機関の介護支援専門員、メディカルソーシャルワーカーと出会い、対面での説明や紹介、意見交換は難しかったものの、電話にて、定期巡回型サービスの特長を説明するなど、試行錯誤に努めた。</p> <p>介護医療連携推進会議については、姫路市からの通知もあり、感染症予防の観点から各関係者が集まったの開催は控えたが、日頃から他事業所の他職種間との連携の中で意見交換をこまめに行い、利用者や家族のニーズに加え、都度の状態も把握していることは、柔軟な対応につながっている。</p> <p>担当職員のスキルアップを図るための研修については、内部でも密を避けるため、書面中心になったことに加え、外部研修も開催頻度が少なく、参加までには至らなかった。そのため、職員間の情報や意見交換も中途半端になり、支援にもばらつきが観られ、支障が生じた。次年度は共通認識のもと、スキルアップにつながるよう個別対応やリモートでの開催等世情に合わせた工夫を行い、利用者や家族ニーズに応じたサービス提供に努めていきたい。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>今年度の月間の登録者数は4月から8月まで右肩上がり伸び21名まで達したものの、9月以降は下降に転じ、関係機関から利用相談は受けていたが、増減を繰り返し、3月には人員配置上から調整を行ったことで、年度末時点で13人となっている。</p> <p>また、利用相談を受けても新型コロナウイルスから病院からの退院や介護老人保健施設からの退所も先延ばしにされる方も多く、利用に繋がらなかったケースも相次いだ。</p> <p>要介護度の高い利用者の継続利用はある中、平均要介護度は、12月以降は2以上保っているものの、登録者数の割合からすると要介護1と2の利用者が過半数以上となっている。</p> <p>次年度は地域セミナーに加え、居宅介護支援事業所や医療機関の介護支援専門員やメディカルソーシャルワーカーと出会い、サービスの特長を説明し、普及活動に努めていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.2》

令和3年3月31日 現在

	人数	割合
要介護1	4	30%
要介護2	6	46%
要介護3	1	8%
要介護4	1	8%
要介護5	1	8%
合計	13	100%

月間訪問実績（人数）

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	9	9	9	10	10	5	5	7	6	6	5	4	85
要介護2	6	5	6	7	8	9	8	8	8	8	8	6	87
要介護3	1	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	1	19
要介護4	0	0	0	1	1	0	1	2	2	3	1	1	12
要介護5	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	7
合計	17	16	17	20	21	15	16	19	19	20	17	13	210

月間訪問実績（延べ人数）

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	615	656	663	679	744	368	472	682	633	526	395	478	6,911
要介護2	455	382	407	504	592	763	605	624	625	643	559	536	6,695
要介護3	151	189	300	318	211	154	157	149	189	321	261	154	2,554
要介護4	0	0	0	11	22	0	57	129	145	163	98	109	734
要介護5	2	0	0	0	0	0	121	164	167	165	156	176	951
合計	1223	1227	1370	1512	1569	1285	1412	1748	1759	1818	1469	1453	17,845

新規契約者数

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	1	1	1	3	1	1	3	3	0	1	0	0	15

平均介護度推移

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	2.1	2.1	2.2	2.3	2.1	2.2	1.9

年齢別構成状況

令和3年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	1	0	2	0	3	1	0	7
女	0	1	1	1	1	1	1	6
全体	1	1	3	1	4	2	1	13

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
<p>令和3年 1月26日</p>	<p>「訪問車の駐車場所について」 勝原区宮田の利用者宅付近の空いたスペースに利用者に確認の上、車を駐車して訪問を行っていたところ、近隣の住民より通行障害になっているとの申し出がある。</p>	<p>①先方から訪問しての謝罪は断られたため、事務長が電話にて、今後、同じ場所には止めず、支障のない場所に改めることを説明し、謝罪すると理解が得られた。</p>
<p>令和3年 3月26日</p>	<p>「訪問時の対応について」 訪問時に職員の言葉遣いや振る舞い等の接遇に加え、支援に関係の無いスペースへの侵入、支援中の個人携帯の使用等の態度に対して、不快との申し出がある。</p>	<p>①管理者が訪問し、不適切な対応から不快を感じられたことについて、謝罪する。 ②当事者や法人の謝罪は断られたため、当事者の訪問を中止することを説明すると理解が得られた。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和2年 4月24日	<p>「他事業所の送迎車との接触事故」</p> <p>訪問終了後、車を後退させた際、停車中だった他事業所の送迎車と接触した。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②発車前に近くに駐車してある車との位置関係を把握する</p> <p>③車幅間隔を身につけ、道幅が狭い住宅地では、ミラーなどで道路の状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④接触しそうな場合は、後退せず、前進操作を行う。</p>
令和2年 6月22日	<p>「車庫の手すりとの接触事故」</p> <p>訪問時に車庫入れをしていた時に、スロープに備え付けてある手すりに車をあてる。</p>	<p>①駐車前に駐車場に置いてある物品や車庫との位置関係を把握する。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、道路や周りの状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は、後退せず、前進操作を行う。</p>
令和2年 11月2日	<p>「利用者宅駐車場の外壁との接触事故」</p> <p>訪問後、左折して車庫から出ようと操作した時、車庫の外壁にあたり、外壁が傷つく。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②発車前に車庫の外壁等の位置関係を把握する。</p> <p>③車幅間隔を身につけ、道幅が狭い住宅地では、道路の状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④接触しそうな場合は、前進せず、後退操作を行う。</p>
令和3年 3月19日	<p>「利用者宅カーポートの雨樋破損」</p> <p>訪問時に車庫入れをしていた時に支柱の雨樋に車をあて、雨樋が外れた。</p>	<p>①駐車前に駐車場に置いてある物品や車庫との位置関係を把握する。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、道路や周りの状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は、後退せず、前進操作を行う。</p>
令和3年 3月29日	<p>「公用車の後部窓ガラス破損」</p> <p>訪問時に車庫入れをしていた時に高さを見誤り、上部支柱に後部窓ガラスをあて、破損する。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②駐車前に車庫との位置関係を把握する。</p> <p>③車幅間隔を身につけ、道路や周りの状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④接触しそうな場合は、後退せず、前進操作を行う。</p>

